

活動名：2017 冬 波崎遠征 SUPER COPA U-12

日程：平成29年12月16日（土）～17日（日）1泊2日

会場：茨城県神栖市ジャーニーロード・土合グランド

参加：T6・L100 クラス 18名

帯同：設楽・貝和コーチ

結果：第14位/14チーム

試合数：第1日目6試合、第2日目～5試合、計11試合

報告：設楽

16日（土）

・予選リーグ

VS ラルクベールG（千葉県） 0：10 ●

VS リベレオ（千葉県） 1：3 ●

・フレンドリーマッチ（FM）

VS ヴィスポ柏 ●

VS ラルクベールW ●

VS BTO ●

VS 船橋トレセン ●

17日（日）

・順位決定戦（最終日）

VS ウィングスW（千葉県） 0：10 ●

VS ラルクベールW（千葉県） 0：7 ●

VS BTO（秋田県） 0：2 ●

・フレンドリーマッチ

VS BTO ●

VS ヴィスポ柏 ●

我がクラブの毎年恒例となりました「波崎遠征」茨城県神栖市波崎（合宿や大会のメッカ）ですが、今年の夏のCOPA大会は常葉カップと重なり、出場できず、今回は初でしたが冬のCOPA大会に出場し遠征として実施しました。

参加者は6年生・L100クラス（リフティング100回以上記録3～6年生）の選手18名で、夏の大会は2泊3日ですが、冬は1泊2日の大会で今回は忙しい日程となりました。

この大会は東京ベルディの下部組織である千葉のウィングスさん、ラルクベールさん、花園さん、リベレオさんが主催するフェスティバルで、千葉県、埼玉県など関東の強豪チームが参加する大会です。

我がクラブは福島県のチームとの交流が多い中、年に1回の関東チームとの試合は私たちにとってとても刺激を受け、また参加した子どもたちには今後のサッカー人生において何かを感じることができる貴重な機会だと思っております。

そのため、毎年この波崎のCOPA大会に参加したいと思っており、今年も出場できたことを嬉しく思います。ご招待をいただき主催者の方々に感謝いたします。

行程は・・・

朝5時集合出発で約5時間をかけて貸切バスで会場へ向かい、初日は予選リーグ（3チームによる総当たり戦）とFM（交流戦）、二日目は順位決定戦とFM（交流戦）を11試合行い、宿泊は主催者に準備していただいた宿舎（ホテルジャーニーロード）に他のチームとともに宿泊をしました。

この遠征では、レクリエーションなどを行う時間も無く、就寝前とバスの移動以外の時間は試合をしているような試合三昧のスケジュールでした。

さて、今年の出来事や私の感想について以下にまとめましたので報告いたします。

保護者の方々はお子様から断片的に感想を受けていることと思いますが、どのような二日間だったのかを子供たちの感想と交えてご覧ください。子供たちの今後の成長に大きな影響を与える素晴らしい二日間の経験だったことを感じていただけたと思います。

○行きのバス移動について

朝早くからの集合で長い道のり、そして11時からの試合であったこともあり、疲れるのでゆっくりと落ち着いて乗っているように伝えましたが、それも無駄でみんな興奮してはしゃぎまくり・・・当日の試合を不安にさせてくれました（笑）。



○大会の会場環境について

天然芝のすばらしいグラウンドで試合を主に行いましたが、雨男のコーチがいたにもかかわらず、天候にも恵まれ初日は温暖な気温、二日目は風が強くとても寒い気温でしたが最高のサッカー日和でした。

○試合運営について

事前に試合及びフレンドリーマッチ（FM）を主催者に組んでいただき、その時間にコートへ移動すると試合ができるようになっており、審判員は主催者OB（中学生）たちで、参加したそれぞれのチームは自分たちの試合のみで集中できる素晴らしい運営でした。

○試合内容について

・強豪相手に「びびって」しまったプレー

関東の強豪との試合ということで、いつものような県内チームとの戦いができず、焦ってしまうプレーが多々見られました。落ち着いていつもどおりにプレーできればこんな惨敗結果では無かったと思われ残念ですが、いつもとは違う環境でのプレーだったのでプレッシャーを感じてしまったことは仕方がないと思います。ただ、このような県外強豪チームとの試合経験は、今後の大きな成長につながると思い、貴重な経験だったと思います。

・L100 選手のプレー

リフティング100回記録を持っている子たちは、それなりにプレーができましたが、その記録がない子たちは足元の技術（トラップやパス、ドリブルなど）ができず、またボールを相手から奪うことが容易にできませんでした。やはり、この最低限のリフティング技術は身に着けてほしいと思いました。

・試合での体格による当たり負け

関東のチームの子たちや特に強いチームは、「生物学年齢（年齢の割に成長が早い）」が高い子が多くいて、同学年でもアーレの小柄な選手たちは当たり負けして厳しい戦いでした。また、相手のボールを奪うこともスピードを抑えることもできませんでした。しかし、これは生物学年齢の違いなので今のジュニア年代では仕方ないことだと思っています。高校生になると同じ体格同士の戦いができるようになるので、今の時期は基礎技術の習得やサッカーの「かけひき」を覚えることが重要だと思います。

・キーパー（GK）の固定ポジション

りょうた君（5年生）が志願してGKを担ってくれたので、固定ポジションを与えました。試合結果のとおり相当なシュート数で防御して何とかあの失点で抑えられたような忙しいポジションでしたが、ファインセーブも炸裂して頑張ってくれました。

他選手にも GK ポジションをお願いしましたが、相手チームのレベルの高さでシュートが強く、良い角度に打たれるので即席 GK では簡単にはじくことができず、りょうた君の GK に大分助けられました。

- L100 クラスの 3、4 年生 2 名について

ようすけ君（4 年生）、あきら君（3 年生）がこの大会では初の低年齢出場でした。6 年生チームで通用するのか？しないのか？当たりで怪我をしないか？などちょっと不安でしたが、経験を積んでもらおうと 6 年生のお兄ちゃんたち並みに出場して勇敢に立ち向かうプレーを見せてくれて頼もしかったです。

- 貴重な 3 得点について

大会を通してアーレの得点数は「3 点」と少なく、シュートは打っていますが、試合を通してディフェンス的な時間が多く、結果は厳しい得点数でした。また、得点者は W かいと君 2 点、ひろと君 1 点の 2 名によるもので、二人が頑張ってくれました。

- 失点について

相手のコーナーキックによる失点が多く感じられました。その原因は相手と競らないことからなるもので、相手が思いのままにヘディングやシュートを打ち、キーパーは止めきれないといった失点でした。練習中に試合形式の練習をしていないので仕方ないことですが、競ることを怖がっているプレーが多いので今後の課題として修正していきたいと思います。





○宿舎での生活態度について

- ・夕食は自分たちでそれぞれが食べる分の「ごはん」をよそいました。しかし、少なく盛る子はいなく、みんなお茶碗一杯をしっかりとよそって食べました。食べるスピードはまちまちでしたが、嫌いなおかずだからといって人にあげたり、もらったりすることは注意して、しっかりと食べさせることに努めました。自分の分をちゃんと食べないと試合には出られないと言うと、みんな完食していました（笑）。強いチームはごはんをお替りするほどしっかり食べるので、「スポーツ」と「食育」は大事であると思います。朝食も完食してくれたので、二日目の戦いを期待しましたが、結果は惨敗で残念でした（泣）
- ・夕食後には日韓戦のテレビ観戦前にあきら君が9歳の誕生日だったので、上級生たちがハッピーバースデーを唄い祝福してあげました。クラブで準備したお菓子を食べながら祝いましたが、あきら君は感激して「涙」を浮かべていたので、その感受性高い姿は印象的でした。
- ・日韓戦の観戦はコーチ部屋8帖間に20人が集まり、熱気むんむんの中テレビで日本を応援しました。試合結果が残念なものだったので、子供たちはイライラして、私たちコーチ陣がいつもみんなに言っているようなこと（あきらめるな！ボールをおさめろ！とか・・・）をテレビに向かって言っていたので笑ってしまいました（笑）。
- ・テレビ観戦が21：10ごろ終わり、今朝が早い時間だったので21：30には消灯することを伝え、コーチが確認しに行った時に寝ていない子は試合に出さないといいことを伝えると、夏合宿の夜更かしが考えられないほどみんな寝てくれました。これもびっくりでした（笑）。若干1名（S.S君）はふざけて寝ずにいて、やはり次の日は思ったように体が動かず・・・（泣）。
- ・他チームと同じ階に泊まりましたが、他チーム（他大会に出場）の子は午前2時ぐらいまで騒ぎ、遊び、はしゃいでうるさく、夜中に叱りに行くほどでした。私たちも朝3時ごろの起床でしたので早く就寝したのに寝不足になっちゃいました。朝になると隣の部屋から指導者が出てきたので、あのうるささで何も注意しない放任クラブもあるんだなと驚いちゃいました（汗）。





○保護者の応援と差し入れについて

県内の会場と違い遠い道のりの中、保護者の方々や兄弟姉妹が会場まで子供たちの応援に来てくれたことは、子供たち自身表現しませんがリラックスができたと思います。また、子供たちやコーチ陣までも差し入れをいただいたことにも大変感謝申し上げます。



○帰りのバスについて

帰りのバスの中ですが、まあ、うるさい、うるさい・・・試合中に声を出さないで静かなのは誰だったのか・・・？ バスの中は人狼ゲームで盛り上がり、大きな声で楽しんでいました。この仲間との仲良しさはチームワークにつながるのですが、試合では借りてきた猫のようになってしまい残念です（笑）

その他にも二日間ではいろいろなことがありましたが、お子様からそれぞれ感想を聞いていることと思います。今回の遠征で様々な経験と刺激を受けたことで自分たちの財産になると思います。高額な参加費でしたので保護者の方々のご負担は大きかったですが、お子様を参加させていただきましたことに感謝いたします。また、大会の主催者及び相手チームの方々にも交流ができたことに感謝して報告とさせていただきます。

また、来年もご招待を受けましたら、是非参加したいと思っておりますので、五年生以下の保護者の方々はお子様には是非ご参加をさせていただきたく思います。

コーチ：設楽